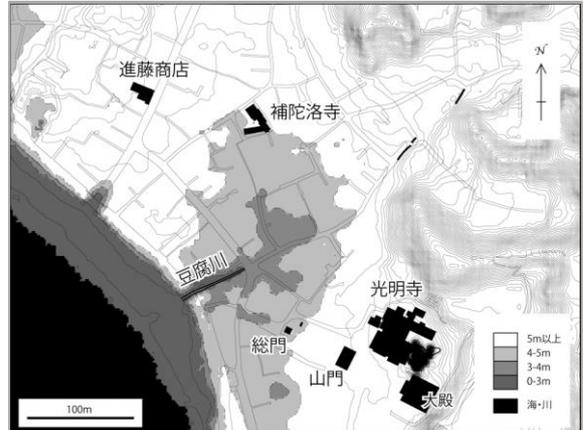


関東大震災100年

100年前、私たちの町を襲った関東大震災の残された災害写真や記録類、手記等を展示します。
展示期間 9月1日(金)～30日(土)*4・11・19・25 休 中央図書館1階・3階ギャラリー



霊山山が大きく崩壊 坂ノ下の浜辺の惨状



材木座豆腐川流域付近 津波地区
(神奈川県温泉地学研究所万年氏作成)

1923年(大正12年)9月1日、午前11時58分、相模湾北部を震源とするプレート型地震、マグニチュード8クラスの地震が関東南部から東京方面を襲いました。鎌倉は一瞬のうちに壊滅し、山は崩れ一時は陸の孤島のような状態になりました。『鎌倉震災誌』(昭和5年 鎌倉町役場刊)によれば、被害は鎌倉町で全壊1,455戸、半壊1,549戸、埋没した家8戸。さらに津波による流失113戸、地震直後の火災で全焼が443戸にのぼり、半焼は2戸で、死者412名、重傷者341名を数えました。大船(山ノ内を含む)の被害は全壊450戸、半壊80戸、死者18名、負傷者は23名。腰越津村の被害は全半壊合せて310戸、死者70名でした。深沢村もかなりの被害を蒙りました。

ギャラリートーク&地域防災交流会開催

12年前の2011年3月11日、東北関東地方を襲った大地震を経験した私たちは、あらためて災害の歴史を振り返り、現在の環境を見直しています。展示資料を解説するギャラリートークの後、現在、地域や学校・家庭等で取り組まれている防災についての経験を分かち合う交流会を開催します。

日時 令和5年(2023年)9月30日(土) 14:00～16:30(開場 13:30)

場所 鎌倉市中央図書館3階 多目的室 定員 30名 入場無料

お問合せ・申込 鎌倉市中央図書館

★メールの件名に「関東大震災」といれ、氏名(ヨミ)・連絡先をお知らせください。